奉祝
天皇陛下御即位三十年
奉祝
天皇陛下御即位三十年

開運

開運
平成三十一年
越中国司大伴家持卿創建の御社
氷見之郷
総鎮守
伊勢玉神社

開運
平成三十一年
伊勢玉神社

開運
平成三十一年

開運
越中国司大伴家持卿創建の御社
氷見之郷
総鎮守
伊勢玉神社
平成三

越中国司大伴家持卿創建の御社
氷見之郷
総鎮守
伊勢玉神社
平成三十一年

越中国司大伴家持卿創建の御社
平成三十一年

開運
平成三十一年
越中国司大伴家持卿創建の御社
氷見之郷 伊勢正神社

開運
平成三十一年
越中国司大伴家持卿創建の御社
氷見之郷
総鎮守
伊勢玉神社

開運
平成三十一年
越中国司大伴家持卿創建の
氷見之郷
総鎮守
伊勢玉神社

【盤持石（ばんもちいし）】の由来

昔、この石は盤持石・晩持石・力石・力試し石など、地方によって呼ばれ方が異なっています。

「盤持ち」とは、村の鎮守の境内や四つ辻などで行われた米や石を使っての力くらべを言います。

特に、江戸期から明治、大正、昭和初期にかけての娯楽の少なかった時代、若者たちの楽しみは盆踊り、獅子舞、相撲、将棋、芝居、唄などに加えて、この「盤持ち」でした。

こうした力くらべを通じて、地域の団結を図ったようです。

ここに並べてある盤持石は、以前、当地区の2班（旧「中の班」）の中村家の灰小屋付近にあり、村人の寄り合い場所にもなっていました。また、盤持石は流って「ばんぶつ」、場所を「ばんぶつば」と呼ばれていました。

その後、昭和四十年半ばに八幡社の階段上り口（左側）へ移設され、本年六月に境内の社殿左側の本場所へ移設しました。

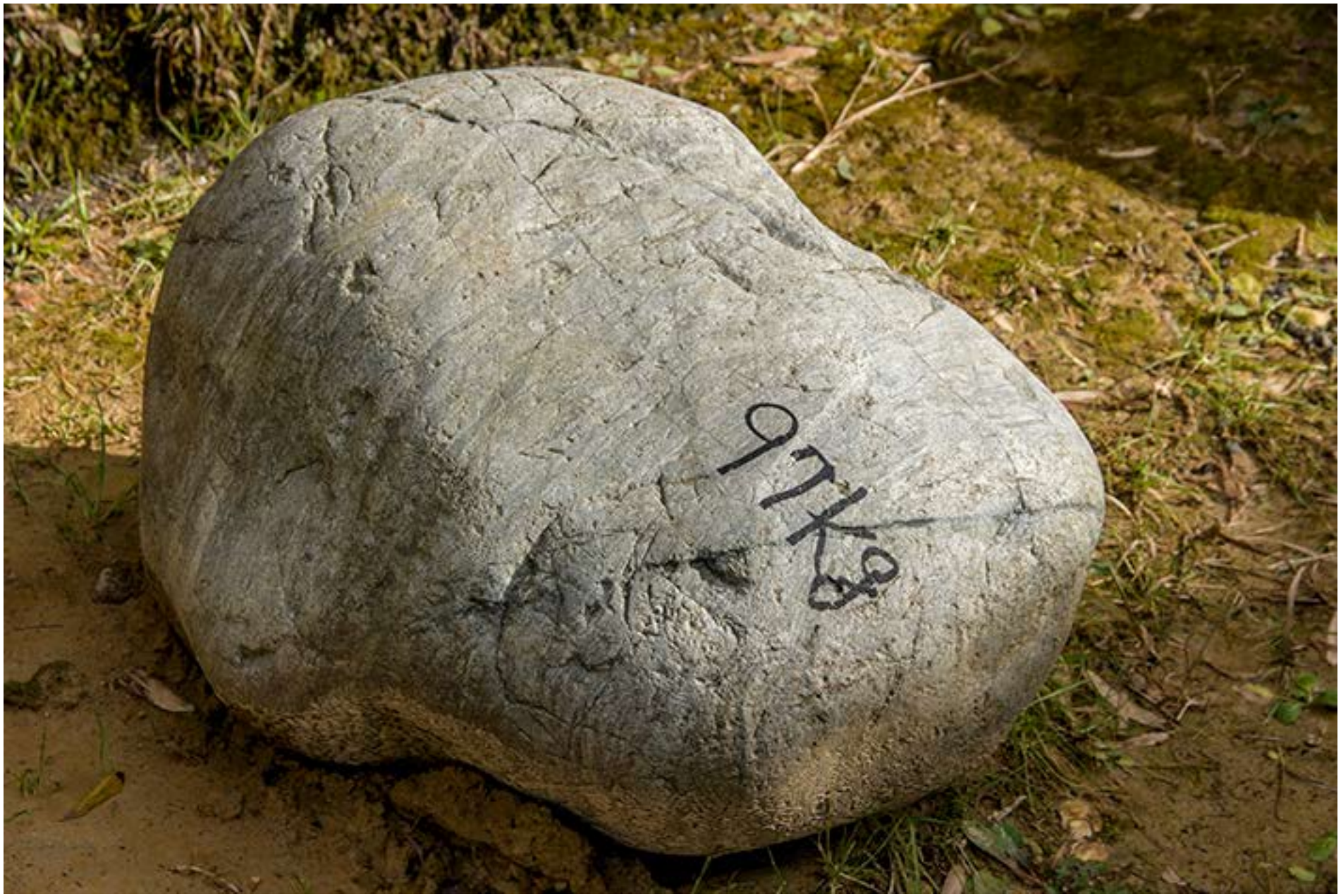
五個ある石のうち最も重いものは約一一八㌔あります。また、軽い石でも六十六㌔あり、これを持ち上げた若者はその年の村一番の力持ちとして人気者になったと言われております。

上泉に現存する数少ない貴重な文化遺産であり、ここに由来を記し末永く保存するものであります。

平成三十年十一月吉日

上泉自治会

11848



1032

11813

118kg

八幡社